

国際交流学科（課程レベル）アセスメント・ポリシー

2026年度生以降

1. ディプロマ・ポリシー

ディプロマ・ポリシー	
DP1	日本語、英語、選択した第二外国語を聞き、読み、話し、書くことによって、適切なコミュニケーションをはかることができる。
DP2	国際的な視点から、日本語と、日本の文化と社会を理解できる。
DP3	国際交流を積極的に進め、国際的な場で協働を行うために前提となる諸要素について理解することができる。
DP4	言語、文化、社会の多様性を認め、国際社会の課題を発見することができる。
DP5	自ら見出した課題について、適切な方法で情報収集・検討・考察し、その結果や自己の見解を、効果的な形で発表・活用することができる。
DP6	課題解決に向けて自ら考え、努力し、その過程を協調性やリーダーシップをもって他者と分かち合うことができる。
DP7	国際交流の知識とコミュニケーション能力を活用し、国際社会の発展に貢献することを目指して行動することができる。

2. アセスメント・ポリシー

#	アセスメント項目	アセスメント・プラン	対応するDP							責任主体	備考
			DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7		
1	新入生調査	新入生意識調査の回答率及び設問ごとの肯定回答率を算出し、大学での学びへのレディネスにつきアセスメントを行う。					○	◎		学部執行部、学部教授会	学部学生支援委員会、学部国際教育委員会（留学生委員会）を実施主体としてアセスメントを行う。
2	外部ジェネリックスキルテスト	外部ジェネリックスキルテストの結果を集計し、思考力、姿勢・態度の伸長につきアセスメントを行う。					○	◎		学部執行部、学部教授会	学部教務委員会、学部キャリア形成・就職委員会を実施主体としてアセスメントを行う。
3	入学時語学力試験	英語・日本語アセスメントテストの結果を集計し、アセスメントを行う。	◎							学部執行部、学部教授会	学部キャリア形成・就職委員会を実施主体としてアセスメントを行う。
4	GPA（課程別）	（学年別）年間GPA分布及び通算GPA分布を集計し、平均GPAおよびGPA2.0以上の学生割合につきアセスメントを行う。		○	◎	○				学部執行部、学部教授会	学部教務委員会を実施主体としてアセスメントを行う。
5	成績評価（課程別）	主要授業科目の成績分布及び単位修得率を集計し、アセスメントを行う。		○	◎	○				学部執行部、学部教授会	学部教務委員会を実施主体としてアセスメントを行う。
6	検定/資格（外部語学検定試験含む）等	検定/資格ごとの受験者数・合格率・平均スコアを集計し、アセスメントを行う。	◎						○	学部執行部、学部教授会	学部キャリア形成・就職委員会を実施主体としてアセスメントを行う。
7	在学生調査	在学生意識調査の回答率及び設問ごとの肯定回答率を算出し、総合満足度・成長実感につきアセスメントを行う。					○	◎		学部執行部、学部教授会	学部学生支援委員会、学部国際教育委員会（留学生委員会）を実施主体としてアセスメントを行う。
8	海外プログラム（長期留学派遣含む）	プログラムごとの派遣学生数・参加率・単位修得率を集計し、アセスメントを行う。		◎		○				学部執行部、学部教授会	学部国際教育委員会を実施主体としてアセスメントを行う。
9	実習/演習/卒業論文（研究）	卒業論文ルーブリック評価により、アセスメントを行う。					◎	○		学部執行部、学部教授会	学部教務委員会を実施主体としてアセスメントを行う。
10	卒業後の進路（就職内定率含む）	就職内定率・就職率・進学率を集計し、アセスメントを行う。					○		◎	学部執行部、学部教授会	学部キャリア形成・就職委員会を実施主体としてアセスメントを行う。
11	卒業時調査	卒業生意識調査の回答率及び設問ごとの肯定回答率を算出し、総合満足度・成長実感につきアセスメントを行う。					○	◎		学部執行部、学部教授会	学部学生支援委員会、学部国際教育委員会（留学生委員会）を実施主体としてアセスメントを行う。
12	養成課程	養成課程ごとの修了者数、修了率および採用数を集計し、アセスメントを行う。	○	○					◎	学部執行部、学部教授会	学部教務委員会、学部教職課程運営委員会を実施主体としてアセスメントを行う。